

# 農村生活体験事業

## 100人目の実習生

平成2年からスタートしたこの事業は、これまで26都道府県から事業への参加がありました。北川さんは、10月末までの5ヶ月間、農村体験研修施設「ふれ愛の里」で生活をしながら、町内5戸の受け入れ農家で農業実習を行い、町内の各種イベントに参加し、和寒町のさまざまな魅力を体験する予定です。

町民の皆さん5ヶ月間どうぞよろしくお祈りします。



~ようこそ！  
自然の恵み野わっさむ町へ~



きたがわ みわ  
北川 美和 さん

出身地：滋賀県  
趣味：トレッキング、  
旅行、芸術鑑賞  
(美術・音楽・  
文学・映画)

### 北川さんに 聞きました

Q1  
和寒町の印象は？

出会う方、皆さんが大変親切で、大切に町を守っておられることを感じました。  
また、来町させていただく前から不思議と安心感がありましたので、本当にありがたいことだなと思ってあります。

Q2  
農業のイメージは？

肉体的にも精神的にも大変なことは多いと思いますが、作物を作ってくださる方があって初めて「食べる」ことができるので、本当に重要なお仕事だなと思っています。

### とにかく北海道の自然を感じてみたいです！

Q3  
農業を体験したいと思ったきっかけは？

農業自体には、以前から興味がありました。和寒町の農業体験をきめたきっかけは、「きつと安心できる素敵な土地だ」という直感でした。

Q4  
この農業体験で楽しみなこと、不安なこと、学んでみたいことは何ですか？

楽しみにしていることは、毎日成長する野菜やお花を観ることです。不安なことは、自分の技量と、ご迷惑をおかけしないのでできる限りお役にたてるかどうかということ、ほとんど未経験ですので、基本的なことから学ばせていただければと考えております。

Q5  
最後に和寒町民の皆さんにメッセージをどうぞ！

この様な素敵な町で働かせていただける機会をいただき、本当にありがとうございます。どんな経験も財産になると思いますので、いろんなことに挑戦していきたいです。

短い期間ですがどうぞよろしくお祈りいたします。



今回、実習生の受け入れに協力していただいている八島邦彦さん(朝日)は「色々な体験をして、和寒を楽しんでほしい。寒暖の差があるので、体には気をつけて。」と話してくれました。